

## 小堀 孝二 議員



### 自然環境保全と活性化

**Q**

東日本大震災後、新エネルギーの確保が緊急課題となっている。村の取り組み状況と今後、計画は：

**A**

まずは調査を進めたい

**企画観  
光課長**

再生可能エネルギーはバイオマスについて本年度より廃食油のリサイクル事業と薪ストーブの設置補助事業に着手、小水力発電は村内に適した場所があるとの情報を得たので検討を始めている。風力発電は俵山展望所付近に3機稼動しています。クリーンエネルギーの導入、環境に優しい村づくり、南阿蘇村のイメージアップとPR事業に頑張っていきたい。

**村長**

小水力発電機械は落差が無くても発電できる。まずは調査を今進めており、観光にも大事なことだと思う。各エネルギーで検討しながら取り組んでいかなければならないと感じている。



風力発電

※その他、地下水保全・ボーリング規制について質問があつたが古澤議員と同内容なので省略

**Q**

原野の野焼きに何か手立ては：

**農政  
課長**

草原維持の作業が困難化している。地区住民、牧野関係者と行政も一緒に協議を進め、作業の実施に向けて積極的に検討したい。



### 竹田橋は今後どうなる？

**Q**

河川局と協議し架け替える方向で考えるとの答弁から2年… 検討結果は：

**A**

もう少し時間が必要

**村長**

困っておられることは承知している。橋の架け替えは困難な事業。橋を渡って農作業等をされていた実態も十分理解しているの、それなりの時間必要ということとはご理解いただきたい。



通行止の竹田橋

### シルバー人材センターの現状と課題：

**Q**

センターの利用状況と活動。

**A**

生きがいのもてるセンターを目指したい

**健康推  
進課長**

H19年発足、事業主体は老人クラブ連合会、現在の登録会員数26名、本年度上半期で受注件数209件、就業延べ人数766人となっている。

**Q**

今後の活性化対策は：

**健康推  
進課長**

技能、知識を持った方々を人材バンクのように登録し活性化を図る。

**Q**

センターの役割は：

**村長**

最近では本村に転入されてくる方の中にはいろんな経験や特別な能力を持っておられる方もいるので、作業ばかりではなく、それを活かして指導や講習も行的整備していく必要がある。年々活動が活発になり活躍されている。年代別に何か貢献していたりできるような人材センターの運営がしていきたい。